

平成28年度自己評価表

(様式1)

愛媛県立野村高等学校・本校 (42)

教育方針	豊かな自然、地域社会にはぐくまれながら、学科の特質と生徒の実態に即応した特色ある教育を実践する。人格の完成を目指し、調和の取れた人間性、高い知性、豊かな創造性の育成を図り、地域、社会の進展に貢献できる、主体性に富んだ広い視野を持った人間を育成する。	重点目標	自己錬磨 ～ 夢に向かって鍛える生徒の育成 ～ 1 高い目標を持った、意欲的な学校生活を支援します。 2 意欲の喚起と授業の工夫で、自主的な学習態度を育てます。 3 個別指導を充実し、満足のいく進路実現を目指します。 4 部活動を奨励し、調和のとれた心身ともに逞しい人材を育てます。 5 地域との連携・交流を活発にし、地域創世を支える人材を育てます。 6 読書や芸術に親しみ、美しく心豊かな人材を育てます。
------	--	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
PTA活動	保護者への情報発信及び学校との連携の充実	PTA総会保護者参加30%以上を目指すとともに、PTA会報等を定期的に発行する。	A	PTA総会保護者参加33%であり、目標は達成した。PTA会報などは定期刊行が十分できた。	PTA会報は引き続き定期刊行を目指す。HP等を利用したり、内容を吟味したりしてPTA総会参加者を増やす。
	学習指導	家庭学習の充実	B	2学期末考査において1日3時間以上の学習時間を確保した生徒の割合は、1年生65.6%、2年生76.9%、3年生81.3%となっており、学年が進むにつれて学習時間が多くなっており、学力が定着した。	1日平均3時間以上の学習時間を確保できれば、考査においても好影響が出ている。このため来年度もこの目標を継続し、自主的に学習に取り組むことができる生徒を育成する。
	教科指導の充実	皆勤率学年平均60%を目指し、自己管理能力を育成するとともに、小テストや課題の精選により基礎学力の向上を図る。	A	1学期の皆勤率は、1年生80.9%、2年生73.2%、3年生79.3%学校平均77.8%、2学期の皆勤率は、1年生59.6%、2年生63.0%、3年生78.8%学校平均67.1%で皆勤率の目標を上回っており、自己管理できている。また、成績不振者も現在はいない。	1学期、2学期ともに目標皆勤率を確保できている。3学期は風邪の流行等により毎年皆勤率が下がっている。来年度も自己管理能力の育成に努める。また、基礎学力の向上を目指すため小テストや日々の予習、復習のできる生徒を育成する。
生徒指導	基本的生活習慣の確立	心のこもった挨拶の励行、身だしなみの徹底、交通安全の推進により、校内外での事故・事件・違反ゼロを目指す。	B	全体としては、あいさつ、身だしなみはきちんとできており、地域からも評価はいただいている。問題行動により指導した案件が4件あったが、それぞれ改善されている。	担任、学年団、生徒課、部活動等での生徒掌握を十二分に行い、必要に応じて学年集会や個人面談を実施し注意を喚起する。ヘルメット着用や交通安全規範意識を高める呼びかけを、校門指導や生徒会活動で啓発する。
特別活動	自主的活動の充実	県総体出場100名を目指すとともに、ボランティア活動、生徒会活動、学校行事に主体的に参加させる。	B	県総体出場は104名であった。昨年度より大幅増加。生徒会活動は、生徒会役員を中心に自主・自発的に充実した活発な活動を行うことができた。	生徒主体の活動を更に促し、自立活動の充実を目指すことで個々の主体性を伸ばす。
進路指導	進学指導の充実	進学目標達成の満足度100%を目指す。	A	自分の進路について「満足している」と「ほぼ満足している」を合わせて100%だった。	生徒一人一人が、自らを鍛え、能力を最大限発揮して希望する学校に合格できるような指導を、さらに進める。
		難関大及び国公立大15名以上の合格を目指す。	B	国公立大学の個別試験において、学力不足が感じられた。私立大学はよく健闘した。	早期から進路意識を高め、高い目標に向かって学力を確実に伸ばす指導を、さらに進める。
	就職指導の充実	卒業時の内定率100%を目指す。	A	就職希望生徒21名全員が、卒業までに内定をもらうことができた。	生徒一人一人が、自分の能力を伸ばし、適性にあった職場に就職できるような指導を、さらに進めていく。
保健管理	保健管理の充実	毎日の健康観察や安全点検により、日本スポーツセンター申請件数減を目指す。	C	健康観察や安全点検は、きちんとできた。日本スポーツセンター申請件数は、増加した。それは、一部の1年生にとって運動強度が中学時代よりも強くなったためだと思われる。	設備の確認や安全点検に努める。生徒の実態把握に基づいた部活動の指導方法を工夫するよう呼びかける。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況（2学期末現在）	次年度の改善方策
読指書導	図書館指導の充実	図書館外貸出数、一人平均年間5冊以上を目指す。	A	現在、図書館外貸出数一人平均5.5冊で、目標は達成できた。2年生を中心に図書館を利用する生徒が増加している。	図書委員会での読書案内等の活動をさらに工夫し、充実させる。引き続き、生徒の希望する本を購入するなど、図書館環境の整備に努める。
情教報育	ホームページの充実	ホームページをタイムリーに更新するとともに、個人情報保護に努める。	A	ホームページの迅速な更新及び内容の充実と、個人情報の徹底を図った。	今後も多くの情報を発信すると共に、内容の充実と個人情報の保護に努める。
教相育談	教育相談の充実	生徒が抱える問題の早期発見に努め、不登校生徒ゼロを目指す。	B	特別指導の生徒への関わりを中心に、不登校の状態が長期化しないよう各方面と連携できた。	担任、保護者との連携をとりながら、生徒の実態把握に努める。スクールライフアドバイザーとの協力体制を充実させる。
特別教 支援 教育	特別支援教育の充実	生徒の実態を把握し、計画に基づいた支援を進めることにより、学校生活を円滑に送らせる。	B	生徒の実態把握に努め、情報の共有に努め、支援を進めることができた。	生徒の実態把握に努め、学校生活の円滑化を図るための積極的な支援を行う。
同 人 権 教 育	人権意識の高揚	委員会活動を活性化させ、人権意識を高めることにより、人権問題の解決を図る実践力を養う。	B	人権デーの取組や高校祭での展示発表、毎月1回の人権委員会での研修を通して成果をあげることができている。	人権委員会での活動を全校生徒に知ってもらう取組や、人権委員会からのメッセージを発信する機会をもっと増やし、活動をもっと活発化させる。
農 業 教 育	農業後継者育成指導の充実	農業の担い手を5名以上育てる。	B	担い手3名	後継者育成だけでなく、地元に残る人材の育成にも取り組む必要性を感じる。そのためにもキャリア教育の充実に取り組む。
	農業クラブ活動の充実	農業クラブ県大会の各大会で優秀賞1つ以上、全国大会で優秀賞1つ以上を目指す。	B	全国大会 意見発表Ⅰ類 最優秀 家畜審査競技県大会 乳牛の部 優秀 " 和牛の部 優秀2 " 総合の部 優秀 県大会 意見発表Ⅰ類 最優秀 優秀 " Ⅱ類 優秀 " Ⅲ類 優秀2 プロジェクト発表Ⅰ類 優秀 フラワーデザイン競技 入賞なし	全国大会の鑑定競技において、入賞を果たせなかった。この対策として、校内大会の充実と農業技術検定への積極的取組を進める。 各種競技・発表大会で活躍するために、校内大会の充実に取り組む。
寮 務	基本的な生活習慣の確立と安全管理の徹底	点呼、巡視による生活指導や設備等の点検を細かく行い、寮内での事故をゼロにする。	B	寮生が増え、生活リズムを整えながら生活している。全員で寮内の環境整備を推進することができた。	来年度に向け、さらに環境を整えていく。寮生の生活を規則正しいものにしていき、よりよい運営を目指す。
施 管 設 理	教育環境の整備充実	危険箇所等の早期発見、早期改修に努める。	B	破損箇所等があれば、教職員からの早期発見により、すみやかに改修することができた。	定期的に校内巡視を行い、危険箇所等の早期発見、早期改修に努める。 年度当初に予定していた修繕箇所に取りかかれず、迷惑をかけているところがあり、次年度は早急に取り組む。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。